

# 芸術工学会春期大会 in Kobe のご案内

## 大会テーマ「知的独立 デザイン・ネットワーク宣言」

2003年6月14日（土）神戸芸術工科大学

芸術工学会  
Design Research Association



### 会場案内

〒651-2196

神戸市西区学園西町 8-1-1

神戸芸術工科大学 1225・7101 教室

### 公共交通機関

JR 新幹線新神戸駅、JR・阪神・阪急三宮駅、JR 新長田駅より市営地下鉄にて学園都市駅下車・・・歩6分

### 車の場合の最寄 IC :

本州四国連絡道垂水 IC, 布施畑 IC

阪神高速 7 号線前開 IC

第二神明自動車道北線学園南 IC

### 問い合わせ先

神戸芸術工科大学

プロダクトデザイン学科 相良二郎

TEL&FAX 078-796-2590(DI)

e-mail: sagara-j@kobe-du.ac.jp

芸術工学会の活動拠点の多くは九州と地方都市にあり、地域社会や地場産業とのつながりを強く意識した活動を行っている。中でも福岡、神戸、札幌の3都市は進取の気質にとみ、国際的にも開かれた自治都市として存在してきた。福岡は東アジアへの窓口として、神戸はファッション都市宣言から30年の積み重ねを持つ国際都市として、札幌は北方文化圏として北米や北欧、ロシアと密接な関係を築いてきている。

21世紀の経済活動はアジア抜きにはありえず、新しい経済と文化の基軸の構築を基に、「知的独立都市」として世界に情報発信すべきである。このためには、デザインが地方行政ならびに地場産業とより一層密接な連携を持たなくてはならず、地域間の交流や情報交換の活性化が求められる。

大会では、芸術工学会設立から10年を経過したことを記念し、初代会長であられるた故吉武泰水先生が本大会のためにご用意されたご遺稿を、お孫さんでいらっしゃる笠置彩さんに朗読いただく。午後は、杉浦康平先生には、「アジアの風変わりな太鼓「建鼓(けんこ)」と「火炎太鼓」を比較しつつ、アジアの造形思想についてのお話を伺う。パネルディスカッションでは地域社会との繋がりがりやアジアにおけるデザイン活動について、知的財産の移転を目指した議論を企画している。

大会プログラム（予定）

- 10:00 開場
- 10:30 開会宣言・鈴木成文学会会長挨拶
- 10:40 故吉武泰水先生追悼講演  
「芸術工学の理念」  
吉武泰水先生ご遺稿の朗読  
笠置彩
- 11:20 総会（学会員のみ）
- 12:00 昼食・休憩
- 13:00 第二部開会  
大会長挨拶  
土肥博至  
(神戸芸術工科大学学長)
- 13:15 基調講演  
「太鼓のコスモロジー」～アジアの造形思想をめぐって～  
杉浦康平
- 14:45 Coffee Break
- 15:00 パネルディスカッション  
「知的独立 デザインネットワーク宣言」  
パネラー  
佐藤優（九州芸術工科大学）  
齊木崇人（神戸芸術工科大学）  
三谷陽造（神戸市企画調整局）  
後藤元一（札幌市立高等専門学校）  
コーディネータ  
青木史郎（財）産業デザイン振興会）
- 17:30 閉会
- 18:30 懇親会  
神戸市中央区北野町  
グラシアニ：コロナル様式の  
異人館で味わうフレンチ